

轟音もの凄く
● 日本近信
國技館潰る

突風か、工事上の大失態
即死一名、重輕傷十名
◆當分引續き九段で興行◆

此程上棟式を終り工事八分まで進捗付の不完全と言ひ設計違ひと言ひ目
し居たる國技館の大圓屋は四月二十下の處漠然として明かならず角力協
会よりは友綱
日午前八時十分頃折柄の強風に襲はれて一枝もなく西北方より南方に捲
じて倒壊し、ワイヤロープは悉く切断され百卅五尺の支柱四本は根拔
ぎとなつて折れ基礎鐵骨三十二本中既に鐵骨上を行ひたる廿二本のチャ
ンネルは仔細工の如く捻られ見る影もなき倒壊の状を呈し重量二百噸の所
チヤンネル下に壓せられて即死一負りたり
傷十名を出し負傷者は樂山堂病院に入院せしめたり

葛西博士の歸京を待て
原因其他調査
協會にては警視廳技師の臨檢を求める
一方善後策を講じ、あれど原因其
他詳細に涉るは同館建築設計者葛西
工學博士が盛岡市より歸京の上にあ
らざれば確固たる斷定を下す事は不
可能の事と云ふべく現場監督菅沼氏
の談に依れば『餘り突然の出来事で
只今之の處如何なる原因に基いて居る
か全く不明であるがそれでも死傷
者の専かつた事は不幸中の幸でこれ
が午前九時十分であつたら多數の人
夫が勤いて居るから大惨事を呈した
氣に成つた

鐵骨上の時に
換成すべき豫定にて昨年四月基礎工
事起工式を行ひ本年三月廿七日鐵骨
上げをなしたるにワイヤロープ不意
に切斷し人々奇異の感を抱き
◆何等かの悪兆にはあらずやと怪
しめ居たるもの斯くて四月三日上棟
式を行ひ爾來今日に及べる處此慘事
に遭遇したり原因に就ては異説紛々
には旋突風の爲め言ひチヤンネル据
何うしていゝか見當が付かないので

◆二十萬や卅萬は免れまいと思ひ
ます併し夫れは目前物質上の損害で
瀕りなく出来すれば九段の假小屋
は此五月場所限りで春早々開館式を予の渡航せる際と今日とは
舉行する運びになつて居たのが飛ん
だ意外の支障のため少くも今後數場
所の延期を來すことなり其無形の
損害は尠いものではありません』

◆打つて變つて彼の地住民の我軍
外五名が立會の上其體質に付六時間
時より同教室に於て同博士西宮學士
に對する反敵高潮に達し露人は米兵
に對する反敵高潮に達し露人は米兵
結果を發表の筈なるが同人は一日米
飯二合を口にする外間食を好まず就

るがハーロフスク、イマン、スハス
カ方面の露人が最も多く此の觀念を
電に接したる者の中古屋より至急呼び戻し熟議するこ
連中は日の暮頃から各々ガッカリし
態にして建築學上討議の大問題と言
既に鐵骨上を行ひたる廿二本のチャ
ンネルは仔細工の如く捻られ見る影
もなき倒壊の状を呈し重量二百噸の所
チヤンネル下に壓せられて即死一負りたり
傷十名を出し負傷者は樂山堂病院に入
院せしめたり

◆朝飯の最中にゴーと云ふ響
◆火事の時より淒い◆
娘の法事中急
電に接したる者の中古屋より至急呼び戻し熟議するこ
連中は日の暮頃から各々ガッカリし
態にして建築學上討議の大問題と言
既に鐵骨上を行ひたる廿二本のチャ
ンネルは仔細工の如く捻られ見る影
もなき倒壊の状を呈し重量二百噸の所
チヤンネル下に壓せられて即死一負りたり
傷十名を出し負傷者は樂山堂病院に入
院せしめたり

◆沈黙の裡に
出羽ノ海の歸りを待て
友綱根岸理事、春日監督、伊勢ヶ濱
飯のお膳に向つて箸を取りますと前
名古屋から急遽歸京した出羽ノ海の
凄惨の氣に打たれる斯くて午後九時
十日宵の暗々たる中に夜番の提灯
が淋しくほの見えて思ひ爲しか一種
受ける大惨事を演出した建築場は二
牧師來り之れより六十丈裏を隔つ
更に本の包を携へ通學を裝ひて其の
難を避れり四月九日ハーロフスク
の此方なるホーリー到るや一露人
抱き居る者の如く高等女學校の生徒
等は米兵が或る慾望を満たさんとす
は驚く許りにて何事に寄らす三四回
抱き外出の際は飯二合を口にする外間食を好まず就

るがハーロフスク、イマン、スハス
カ方面の露人が最も多く此の觀念を
電に接したる者の中古屋より至急呼び戻し熟議するこ
連中は日の暮頃から各々ガッカリし
態にして建築學上討議の大問題と言
既に鐵骨上を行ひたる廿二本のチャ
ンネルは仔細工の如く捻られ見る影
もなき倒壊の状を呈し重量二百噸の所
チヤンネル下に壓せられて即死一負りたり
傷十名を出し負傷者は樂山堂病院に入
院せしめたり

◆喇麻僧の歓迎會は昨夜富士見軒に催
され、來會者は僧俗を併せて三百
餘名餘興の少年劍舞數番は珍客を喜
ばせ杉子爵と豊山派管長岩堀師は歓
迎の辭を述べ團長賛氏は之に答へ釋
尊が生前に說かれた如く文明は東漸す
したから今度の佛教は反對に西漸す
るとの蒙の握手を悦び田中弘之氏亦
接待し金子雪齋氏の發聲にて日蒙の
政府の命に依り屢々變更するより物
其銃丸は支那領より
◆酒の密輸入をなすが如く裝ひ彼
れ等の根據地に運びたるもの也との
事なり西伯利の米國兵の態度は本國
政府の命に依り屢々變更するより物
其銃丸は支那領より
◆此間の武等運賃は十钎百レースなり
農業爲し得る方法あり
『イグアベ』植民地視察者の爲め『サントス』より
◆當植民地は道路四通八達交通自在なり
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要な組織を有す
◆當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の労働に從事するこ
とを得

◆當植民地には資力乏しき者にても自作
農業爲し得る方法あり
『イグアベ』植民地視察者の爲め『サントス』より
◆此間の武等運賃は十钎百レースなり
農業爲し得る方法あり
『イグアベ』植民地視察者の爲め『サントス』より
◆汽車の『サントス』發は毎週月曜日水曜日(午前九時二
十分)土曜日(此日だけ午前七時)にして其『ジュキア』
着は午後四時

◆此間連貨參鉤なり
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要な組織を有す
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の労働に從事するこ
とを得
●當植民地には資力乏しき者にても自作
農業爲し得る方法あり
『イグアベ』植民地視察者の爲め『サントス』より
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要な組織を有す
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の労働に從事するこ
とを得

●當植民地には資力乏しき者にても自作
農業爲し得る方法あり
『イグアベ』植民地視察者の爲め『サントス』より
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要な組織を有す
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の労働に從事するこ
とを得

が語つて曰く『予は外務省及西伯利
方宣しかる可し等說く者ありて同七
月中香具師の手に渡り諸國を轉々し

◆此程東京に來りしを醫科大學教
授稻田博士が耳にし去十九日午前十
時より同教室に於て同博士西宮學士

●當植民地は道路四通八達交通自在なり
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要な組織を有す
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の労働に從事するこ
とを得

●當植民地には資力乏しき者にても自作
農業爲し得る方法あり
『イグアベ』植民地視察者の爲め『サントス』より
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要な組織を有す
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の労働に從事するこ
とを得

植民募集

(停車場より一キロメートル)

Estação Porto João Alfredo

L. Sorocabana

西原植民地

土地の年期貸與ご家屋、食料其他に關し各種の
便宜を供し小資本を以て確實多量なる農産の
持主たらむるを方針とす

米、豆、カンナ、棉花、煙草等の收穫善美にして運
輸交通の便宜ご衛生佳良なる經驗を有す

明細書は御請求に應じ送呈す、猶ほ實地御視察

を乞ふ

千九百十九年五月

